平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場会社名　前田工繊株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7821　URL　http://www.maedakosen.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 前田　征利
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼経営管理本部長　(氏名) 森山　明　TEL 0776-51-3535

四半期報告書提出予定日　平成24年5月2日　配当支払開始予定日　平成24年5月21日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年9月21日～平成24年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	8,912	—	995	—	1,017	—	499	—
23年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益　24年9月期第2四半期　504百万円　(—%)　23年9月期第2四半期　—百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	99.68	99.41
23年9月期第2四半期	—	—

(注)平成23年9月期第2四半期は、非連結での業績を発表しておりましたが、平成24年9月期第2四半期は連結での業績発表となります。そのため、平成23年9月期第2四半期の連結経営成績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	16,268	10,744	66.0
23年9月期	15,352	10,347	67.4

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　10,744百万円　23年9月期　10,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
24年9月期	—	15.00			
24年9月期(予想)			—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年9月21日～平成24年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	24.8	1,500	48.7	1,540	49.3	1,270	136.2	253.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
(注)連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年4月27日)公表しました「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	5,019,760 株	23年9月期	5,011,760 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	271 株	23年9月期	169 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	5,012,229 株	23年9月期2Q	5,006,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興もようやく動き出し、また急激な円高基調もここにきてトレンドが変わり、経済全般の停滞感はいくぶん払拭されました。一方で、原油価格は上昇の一途をたどり、原子力発電所の停止による電力供給不足懸念、電力料金の値上げが、今後の景気の自律回復に影を落としております。

このような状況のなか、当社グループの主事業である環境資材事業におきましては、インフラの整備・維持補修の一役を担う会社として、被災地に資材を安定供給することで当社の使命を果たしてまいりました。また、子会社北原電牧株式会社の業績も、グループ内の連携強化が奏功し、好調に推移いたしました。

テクニカルサービス事業につきましては、タイ洪水の影響が残り、また海外品との価格競争により、主力製品のワイピングクロスの売上が低調に推移いたしました。

その他の事業では、従来から進めておりました新製品・新用途の開発が寄与することで、業績は概ね順調に推移いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は8,912百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は995百万円、経常利益は1,017百万円となりました。なお、四半期純利益は、法人税率変更に伴う繰延税金資産・負債の取り崩しにより法人税等調整額が48百万円増加し、法人税等合計が501百万円となったことから、499百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（環境資材事業）

環境資材事業では、引き続き厳しい経営環境となりましたが、災害復興製品のほか、子会社北原電牧株式会社で取り扱う鳥獣害対策製品等が好調でありました。その結果、売上高は8,221百万円、営業利益は1,205百万円となりました。

（テクニカルサービス事業）

テクニカルサービス事業では、厳しい経営環境のなか、売上高は297百万円となりましたが、利益面では、さらなる効率化を推進した結果、営業利益は53百万円となりました。

（その他の事業）

その他の事業では、従来からの施策が奏功した結果、売上高は392百万円、営業利益は24百万円となりました。

（注）前第２四半期累計期間は四半期財務諸表を作成していたため、前年同四半期との比較・分析は行っておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ915百万円増加し、16,268百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,535百万円増加したものの、現金及び預金が271百万円、投資有価証券が95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、5,524百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が212百万円、未払法人税等が324百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ396百万円増加し、10,744百万円となりました。これは主に、利益剰余金が386百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ267百万円増加（前期末比15.1%増）し、2,046百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは109百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,001百万円、減価償却費193百万円、たな卸資産の減少額153百万円、仕入債務の増加額212百万円等の収入と、売上債権の増加額1,535百万円、法人税等の支払額143百万円等の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは248百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻550百万円、投資有価証券の売却106百万円等の収入と、有形固定資産の取得231百万円、無形固定資産の取得175百万円等の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは107百万円となりました。これは主に、配当金の支払額112百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月期通期の連結業績予想につきましては、子会社北原電牧株式会社の業績が順調に推移する見込みであること、また当第３四半期より連結子会社となったテクノス株式会社の業績予想を加味したものであります。

これに加え、テクノス株式会社の子会社化による負ののれん発生益により当期純利益は前回予想を上回る見込みであります。

詳細につきましては、本日付「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年９月20日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年３月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,629,062	2,357,430
受取手形及び売掛金	4,779,257	※ 6,314,374
商品及び製品	1,561,263	1,477,077
仕掛品	222,234	404,430
原材料及び貯蔵品	1,248,339	996,732
繰延税金資産	200,381	202,635
その他	84,584	42,382
貸倒引当金	△12,601	△8,166
流動資産合計	10,712,523	11,786,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,168,314	3,296,521
減価償却累計額	△2,070,386	△2,112,494
建物及び構築物（純額）	1,097,927	1,184,027
機械装置及び運搬具	2,315,697	2,385,677
減価償却累計額	△1,949,844	△2,015,175
機械装置及び運搬具（純額）	365,853	370,501
土地	1,546,710	1,532,464
建設仮勘定	124,780	42,162
その他	963,389	1,019,202
減価償却累計額	△862,265	△902,391
その他（純額）	101,124	116,811
有形固定資産合計	3,236,397	3,245,966
無形固定資産		
のれん	264,619	227,154
ソフトウエア	46,674	287,680
ソフトウエア仮勘定	219,520	―
その他	21,102	20,267
無形固定資産合計	551,917	535,102
投資その他の資産		
投資有価証券	321,786	226,569
繰延税金資産	372,425	320,864
その他	186,317	161,980
貸倒引当金	△28,508	△8,786
投資その他の資産合計	852,020	700,627
固定資産合計	4,640,334	4,481,697
資産合計	15,352,858	16,268,592

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年９月20日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年３月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,873,225	3,085,315
未払金	566,368	498,183
未払法人税等	148,120	472,313
賞与引当金	300,549	266,776
設備関係支払手形	124,121	103,314
その他	100,271	194,458
流動負債合計	4,112,656	4,620,362
固定負債		
繰延税金負債	46,046	38,086
役員退職慰労引当金	622,166	627,056
退職給付引当金	223,265	237,702
その他	1,019	883
固定負債合計	892,496	903,728
負債合計	5,005,152	5,524,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,567	1,038,307
資本剰余金	995,195	997,935
利益剰余金	8,326,741	8,713,610
自己株式	△162	△301
株主資本合計	10,357,340	10,749,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,635	△2,490
為替換算調整勘定	―	△2,559
その他の包括利益累計額合計	△9,635	△5,049
純資産合計	10,347,705	10,744,501
負債純資産合計	15,352,858	16,268,592

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年９月21日 至　平成24年３月20日)
売上高	8,912,104
売上原価	5,654,060
売上総利益	3,258,044
販売費及び一般管理費	※ 2,262,845
営業利益	995,198
営業外収益	
受取利息	2,496
受取配当金	1,011
為替差益	15,560
受取保険金	2,857
その他	2,846
営業外収益合計	24,773
営業外費用	
支払利息	1,491
減価償却費	977
営業外費用合計	2,468
経常利益	1,017,503
特別損失	
固定資産売却損	8,211
固定資産除却損	1,924
投資有価証券売却損	875
ゴルフ会員権売却損	5,064
特別損失合計	16,077
税金等調整前四半期純利益	1,001,425
法人税、住民税及び事業税	465,638
法人税等調整額	36,157
法人税等合計	501,795
少数株主損益調整前四半期純利益	499,630
四半期純利益	499,630

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年９月21日 至　平成24年３月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	499,630
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	7,144
為替換算調整勘定	△2,559
その他の包括利益合計	4,585
四半期包括利益	504,215
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	504,215

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年９月21日 至　平成24年３月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,001,425
減価償却費	193,517
のれん償却額	37,465
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△24,156
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,890
退職給付引当金の増減額（△は減少）	14,437
賞与引当金の増減額（△は減少）	△33,772
受取利息及び受取配当金	△3,508
支払利息	1,491
為替差損益（△は益）	△16,623
有形固定資産売却損益（△は益）	8,211
有形固定資産除却損	1,924
投資有価証券売却損益（△は益）	875
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	5,064
売上債権の増減額（△は増加）	△1,535,056
たな卸資産の増減額（△は増加）	153,598
仕入債務の増減額（△は減少）	212,030
その他	229,668
小計	251,482
利息及び配当金の受取額	3,571
利息の支払額	△1,491
法人税等の支払額	△143,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,610
定期預金の払戻による収入	550,106
有形固定資産の取得による支出	△231,137
有形固定資産の売却による収入	6,314
無形固定資産の取得による支出	△175,223
投資有価証券の売却による収入	106,537
ゴルフ会員権の売却による収入	4,285
保険積立金の積立による支出	△1,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	248,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,480
自己株式の取得による支出	△138
配当金の支払額	△112,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,391
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	267,864
現金及び現金同等物の期首残高	1,778,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	※　2,046,820

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年９月21日　至　平成24年3月20日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	環境資材事業	テクニカルサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,221,665	297,889	8,519,554	392,549	8,912,104	－	8,912,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,218	1,520	6,739	90,479	97,218	△97,218	－
計	8,226,883	299,409	8,526,293	483,029	9,009,323	△97,218	8,912,104
セグメント利益	1,205,232	53,462	1,258,695	24,534	1,283,230	△288,031	995,198

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不織布事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△288,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

前第３四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前第２四半期連結累計期間については記載しておりません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

当第２四半期連結会計期間（自　平成23年12月21日　至　平成24年３月20日）

当社は、平成24年２月20日開催の取締役会決議に基づき、同日付でテクノス株式会社の全株式を取得する株式譲渡契約を締結し、平成24年４月２日付で同社の全株式を取得いたしました。

（株式取得による会社等の買収）

１．企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　テクノス株式会社

事業の内容　　高機能ワイピングクロス等の製造・販売・受託加工

(2) 企業結合を行った主な理由

当社及びテクノス株式会社が協働して研究開発を行うことにより、開発時間を短縮し、顧客ニーズへのタイムリーな対応が可能になります。また、取扱商材のラインアップの拡充により、両社の業容拡大が期待できると判断したためであります。

(3) 企業結合日

平成24年４月２日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

テクノス株式会社

(6) 取得した議決権比率

100％

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価としてテクノス株式会社の全株式を取得したためであります。

２．被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	被取得企業の株式	815,400千円
取得に直接要した費用	アドバイザリー費用等	1,682千円
取得原価		817,082千円